十日町情報館・図書館だより
NEWSLETTER FROM TOKAMACHI CITY LIBRARY
よむよむ
Yomu Yomu
3
2026Mar.
Vol.266

編集・発行
十日町情報館・NPO法人らいぶフォーラム
〒948-0072　十日町市西本町2丁目1番地1
TEL／025-750-5100　FAX／025-750-5103
「らいぶフォーラム」は、十日町情報館と図書館分室の図書館サービス業務を受託している市民による非営利団体です。2014年2月にＮＰＯ法人となりました。

バリアフリー展示

【てんやく絵本ふれあい文庫40周年記念事業】

さわってたのしめる
てんやく絵本・点字つき絵本展

主　催／特定非営利活動法人　てんやく絵本ふれあい文庫
共　催／点字つき絵本の出版と普及を考える会
協　力／公益財団法人　伊藤忠財団法人「2024年度子ども文庫助成事業」

誰でも、さわって楽しめる絵本の展示です。
てんやく絵本や点字つき絵本について、わかりやすいパネルや映像で紹介します。絵本における読書バリアフリーを体感してみませんか？

日　時／3月20日(金・祝)～4月12日(日)
午前9時～午後7時
※休館日　3月23日(月)
対　象／子ども～大人まで
会　場／情報館2階　カウンター正面

写真展

十日町市博物館×「森の学校」キョロロ×十日町情報館　連携企画

第17回山内写真館資料写真展　昭和の十日町
ー心に残ったわたしの１枚ー

市民による「雪との闘い」と、雪まつりをはじめとした「雪国の楽しみ」をテーマにした写真を、古文書整理ボランティアによる解説文とともに展示します。
雪に関するテーマ図書と映像もお楽しみいただけます。

日　時／3月14日(土)～29日(日)※休館日3月23日(月)
午前9時～午後7時
会　場／情報館2階スペース
入場料／無料

イベント報告

「みんなでかざろう　ゆきのけっしょう」

児童コーナーの壁面やスロープが、色とりどりの雪の結晶で華やかになりました。たくさんの方からご参加いただき、ありがとうございました！

パソコン講習

【令和7年度　情報館主催　パソコン講習】
小学生必見！

プログラミング学習講座

プログラミングソフト「スクラッチ」を使ってオリジナルゲームを作ろう！自分で作ったゲームを持ち帰りたい人は、USBメモリをお持ちください。

日　時／3月28日(土)、29日(日)
午前9時30分～11時30分
対　象／小学4年生～6年生
※4月から4年生の方も可
受講料／1,000円
会　場／情報館1階　コンピュータ研修室
定　員／先着11人
申込み／専用チラシの申込用紙に記入してお持ちください。電話・FAXでもお申込みできます。

閉架公開

閉架書庫を公開します

いつもは入ることができない閉架書庫（へいかしょこ）を公開します。ご希望の方は、当日１階カウンターでお申し込みください。

日　時／3月15日(日)
午後2時～5時（4時30分最終受付）

【春から新生活！転居される方へ】

４月から新生活がはじまる方も多いことでしょう。市内外を問わず、転居される方は、お手数ですが十日町情報館か、お近くの市内分室までお知らせください。また、現在ご利用中の資料がある場合は、転居前にご返却をお願いします。

３月のおはなし会

（）内は対象、 時間はすべて 10 時 30 分から

◆情報館

７日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
14日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
21日(土)／読み聞かせの会 どんぐり
（幼児～小学校低学年）
28日(土)／おはなし「たまてばこ」(乳幼児)

◆川西分室

21日(土)／おはなしの会「ふきのとう」
（乳幼児～小学校3年生くらい）

◆松代分室

14日(土)／おはなしたんぽぽ
（幼児～小学校低学年）

本のちから(24)

子ども読書活動推進コーディネーター
林 篤子

この冬は記録的な大雪でした。私は終わりの見えない連日の除雪作業に疲れはて、灰色の空を見上げてはため息をついていました。ある朝、降り止まない雪を恨めしく眺めている私とは裏腹に、近所の男の子がランドセルを背負って元気に家から出てきました。男の子は楽しそうに長靴で雪を踏みしめながら、傘で雪の上に字を書いたり、木に積もった雪を落としたりしています。瞳は輝き、銀世界に喜びを隠しきれない様子で、楽しそうに登校班の集合場所へと走っていきました。

そんな男の子の姿から私は１冊の美しい絵本を思い出しました。

冬のある日、ピーターが雪で遊ぶ様子が描かれています。雪に足跡をつけてみたり、棒で線を引いてみたり、雪だるまをつくったり、雪山を滑ってみたり、雪の感触を全身で楽しみながら心ゆくまで遊びます。そして、明日遊ぼうと念入りに作った、かたい雪だんごを大切にポケットにしまうのでした。家に帰ったピーターは、お母さんに雪の中で冒険してきた事を話し、お風呂で温まりながら、何度も何度も思い返しました。ピーターにとってこの上なく楽しい特別な１日だったに違いありません。

子ども時代は長い人生の中で特別な時期と言えると思います。毎日が新しい驚きと発見に溢れていて、「今、ここ」を精一杯生きているからです。大人のように決まった価値観や固定概念にとらわれることなく、自由な発想をもち、想像力を働かせて世界を思い描くことができるのです。一夜にして街を真っ白な世界にしてしまう雪は子どもにとって天からの美しいギフトのように感じられるのかもしれません。

『ゆきのひ』の中のピーターは、あの朝の男の子でもあり、「子ども」そのものであり、そしてそれは遠い昔の自分でもあることに気づかされます。除雪に追われて心のゆとりをなくしていた私は、男の子の姿を通して自然の美しさに感動した大切な時間を思い出しました。読むたびに共感と懐かしい気持ちで満たされます。お子さんと一緒に楽しんでいただきたい１冊です。

※1963 年コルデコット賞受賞作品

『ゆきのひ』
エズラ=ジャック=キーツ／ぶん・え
きじま はじめ／やく（偕成社）

3月のテーマ図書

●一般向け
・新生活応援　・文学賞受賞作
・がんばりスイッチオフ　ほか

●児童向け
・みちのせかいへ
・みんななかよし　ほか

３月15日（日）は家読（うちどく）の日

「家読（うちどく）」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第３日曜日は家族で読書を楽しみましょう。

十日町情報館

●開館時間　午前9時～午後7時　●休 館 日　第2・第4月曜日、特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)

各分室の開館カレンダーは、十日町情報館「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。

ホームページ　Instagram